

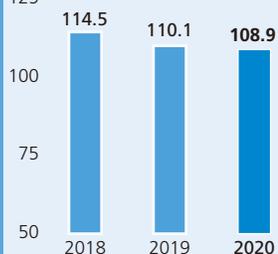
## セキュリティサービス 事業



純売上高および営業収入  
(10億円)



営業利益  
(10億円)



## セコムのセキュリティサービスの特長

セコムのセキュリティサービスは、長期間継続してご利用いただく“継続収入ビジネス”を中心に構成されている点が特長です。主力のオンライン・セキュリティシステムは、5年契約を基本として、以後1年ごとの自動更新となります。

オンライン・セキュリティシステムの仕組みは、ご契約先に設置したセンサーなどのセキュリティ機器を通信回線でセコムのコントロールセンターとつなぎ、24時間365日、コントロールセンターの管制員が監視します。ご契約先から侵入や火災などの異常信号を受信すると、管制員が緊急発進拠点で待機している緊急対処員に急行を指示し、必要に応じて警察や消防に通報します。

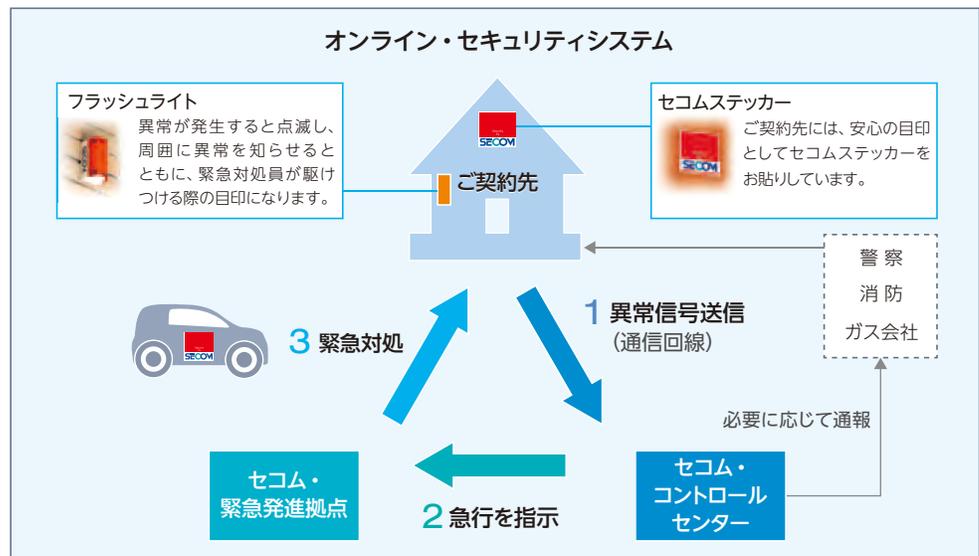
また、切れ目のないサービスを実現するため、セキュリティ機器は、セコムが責任を持って所有し、お客様にレンタルすることを基本にしています。研究開発から機器の製造、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまで、サービス提供に必要なプロセスのすべてにセコムが

責任を持つことで、信頼性のある高品質なセキュリティサービスを実現しています。

セコムでは創業以来、「技術力」「人材」「オペレーション・コントロール体制」の経営基盤を強化し、ご契約先の増加や社会環境の変化に伴い、多様化・高度化する市場ニーズをとらえたサービスの拡充を続けてきました。

「技術力」は、技術動向を見据えた基礎技術の研究に取り組むセコムIS研究所と、その技術を活用して信頼性の高いセキュリティシステムの開発に取り組むセコム開発センターが担っています。これらの研究開発部門は、最新の技術動向を注視し、社会ニーズや犯罪の動向を考慮しながら、最適な技術を活用した独創的なサービスやシステムを実現しています。また、営業員や緊急対処員などが日々の事業活動で得たご契約先からの貴重なご意見やご要望は、研究開発部門にも共有され、迅速かつ的確な改善を行うことで、オンライン・セキュリティシステムのさらなる品質向上に努めています。

「人材」育成では、全国4カ所にある研修センターで、新入社員、緊急対処員、営業員、管理担当者などが、「セコムの理念」や安全





セコム・コントロールセンター

のプロとしての行動規範の徹底を図るとともに、専門知識やスキルを習得しています。多種多様なお客様にサービスを提供してきた豊富な経験は、研修プログラムの改善にも有効活用されています。セコムは、人財育成を充実させることにより、強靱な組織を構築し、セコムならではの高品質なサービス提供につなげています。

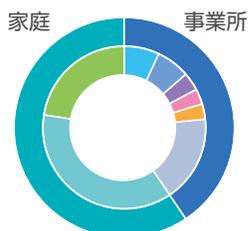
セコムは、オンライン・セキュリティシステムのオペレーションを全国ネットワーク化して、独自の「オペレーション・コントロール体制」を構築しています。さらに、全国約2,800カ所にある緊急対処拠点、長年にわたるノウハウの蓄積、経験豊富な管制員の的確な判断、緊急対処員の初動対応の速さが、迅速な緊急対処を可能にしています。

その一方で、各地域に密着した事業活動を継続することにより、お客様の「安全・安心」ニーズをいち早く察知し、それぞれのお客様のニーズに合致した最適なサービスの提供に努めています。また、お客様のさまざまなご要望にお応えしてきた経験から、より柔軟で幅広い対応力を培ってきました。それらがお客様から厚い信頼を得ることにつながり、セコムのブランド価値を高めています。

さらに、オンライン・セキュリティシステムを核としたグループの総合力で、セコムならではの「安全・安心・快適・便利」なサービスや商品を提供することで、差別化を図るとともに、お客様との絆をより太く、強くしています。

### 国内オンライン・セキュリティシステムの契約先区分

(2020年3月31日現在)



区分	割合
サービス業	7.0%
金融機関	6.7%
小売・卸売業	3.6%
製造業	3.2%
政府機関	3.1%
その他	17.0%
住宅(集合住宅を除く)	37.0%
集合住宅	22.4%

## 主な取り組み

### ■事業所向けセキュリティサービス

セコムは、オンライン・セキュリティシステムを中心とする豊富なラインアップのセキュリティサービスを提供し、お客様の多様なニーズに的確に 대응しています。近年、事業所向けオンライン・セキュリティシステムには、防犯・防火などの異常監視だけでなく、昼夜を問わずお客様の事業活動を支える機能が求められています。そのようなニーズに対応して、セコムは高付加価値なサービスの提案など、契約の質を重視する営業方針を強化しています。その方針のもとに、当期から企業向けオンライン・セキュリティシステムを進化させたシステムセキュリティ「AZ」の提供を開始し、お客様のさまざまなお困りごとに迅速かつ柔軟にお応えしています。

### ●システムセキュリティ「AZ」の販売を開始

セコムは、1966年に日本で初めてオンライン・セキュリティシステムを開発・発売して以来、事業所の規模やお客様の業種・業態に合わせて、そのラインアップを拡充してきました。現在、お客様のニーズは多岐にわたり、事業環境や社会状況に応じて、絶えず変化しています。そこで2019年9月に発売したのが、セコムならではの安全のノウハウをオールインワンで提供するシステムセキュリティ「AZ」です。

「AZ」の主な特長は、防犯・防災や出入管理の機能に加えて、勤怠管理システムとの連携による効率的な就業管理、静脈認証システム「セサモID」などの生体認証システムとの接続による厳格な個人認証、警備セット・解除などの操作を行った人物の画像記録、スマートフォンでも可能なセキュリティ操作や画像の確認、操作履歴の閲覧、そしてユーザー情報の効率的な管理などの機能を備え



システムセキュリティ「AZ」



「セコム IP カメラ」



発熱者対応の実証実験を行った  
「バーチャル警備システム」



「G20大阪サミット」会場周辺を  
巡回警備する「セコムロボットX2」

ていることです。また、これまで事業所向けにラインアップしていた複数のシステムを「AZ」に集約することで、在庫・開発・調達コストの削減といったセコム側のメリットも期待できます。

さらに、拡張性にも優れており、お客様のニーズの変化や技術革新、通信基盤の変化に柔軟に対応して、さまざまな機能の追加が可能です。今後、複数の拠点を一元管理できる機能や新型センサーの導入などでサービス品質をさらに向上させ、普及に努めていきます。

### ●「セコムIPカメラ」と「セコム画像クラウドサービス」を発売

「セコムIPカメラ」は、あらゆる場所の防犯ニーズに対応できる次世代監視カメラシステムです。その特長は、ボックス型カメラ、ドーム型カメラ、コンパクトでデザイン性の高い180度カメラ、全方位カメラなど多彩なネットワークカメラにより詳細部まで高画質フルハイビジョンの鮮明な映像を撮影できる点にあります。撮影された画像は、インターネット回線を通じてパソコンから、また専用アプリを介してスマートフォンからも確認できます。

さらに、「セコム画像クラウドサービス」と連携することで、撮影した画像をクラウド上で管理し、パソコンやスマートフォンから「いつでも・どこでも」確認が可能です。レコーダーが不要となるため、防犯カメラの導入に必要な設置機器を最小限に抑えることができます。

### ●施設の安全を見守る「バーチャル警備システム」

高まるセキュリティニーズとセキュリティ業界における深刻な人手不足を背景に開発された「バーチャル警備システム」は、AI(人工知能)を搭載したバーチャルキャラクターが、警戒監視・受付業務などの常駐警備サービ

スを提供します。現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に、このシステムと熱画像カメラを連動させて、来訪者の体温チェックやマスク着用をお願いをする実証実験を行い、実用化を進めています。

## ■大規模イベント向けセキュリティサービス

### ●「G20」の国際会議にセコムのセキュリティサービスを提供

セコムは、2019年6月に開催された「G20大阪サミット」で、大阪府警察本部が警備計画を立案する際の支援ツールとして、「セコム3Dセキュリティプランニング」を提供し、上空から監視する「セコム気球」で警備エリアの事前確認を実施しました。また、自律走行型巡回監視ロボット「セコムロボットX2」や「セコムIPカメラ」などを提供したほか、同月開催された「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」では、ウェアラブルカメラを装着した常駐警備員などによるセキュリティサービスを提供し、「安全・安心」な会合の運営に貢献しました。

### ●セキュリティと救護を融合した新サービスの構築をめざして日本初の救急救命士所属施設認定を取得

2019年12月、セコムは日本初の救急救命士所属施設認定\*を取得しました。これにより、セコム所属の救急救命士が、医師の指示のもと、より専門的な救護活動を行えるようになります。今後、大規模イベントや大型施設等において、従来のセキュリティサービスに加えて、救護体制も整備し、セキュリティと救護を融合した新しいサービスを構築していきます。

\*一般社団法人・病院前救護統括体制認定機構が、救急救命士の医療行為の質を確保するための教育や法令順守のルール等の体制を認定する「救急救命士所属施設認定」



スタジアム上空から監視するドローン

### ● 5Gを活用したスタジアム警備の実証実験に成功

セコムは、大手通信会社グループとの協働で、第5世代移動通信システム「5G」を活用し、東大阪市の花園ラグビー場周辺警備の実証実験に成功しました。この実験では、「セコムロボットX2」、警備員に装備したカメラ、大手通信会社のドローンからの4K映像を、5Gを経由してセコムの移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター」へ伝送しました。これにより、広範囲なエリアを高精細な4K映像で確認し、不審者の認識から捕捉までの一連の警備対応が可能になったことが実証されました。さらに、「オンサイトセンター」で受信した4K映像を、AIを活用した人物の行動認識機能で解析後、異常を自動認識して管制員にリアルタイムで通知することで、異常の早期発見と迅速な緊急対応が可能になることを実証しました。セコムは、実証実験で得られた成果を今後のイベント警備などで活用し、5Gを活用した高度なセキュリティの実現をめざします。



「セコム・ホームセキュリティNEO」

### ■ 家庭向けセキュリティサービス

「セコム・ホームセキュリティNEO」は、外出先からスマートフォンを用いたセット・解除操作や、家族が外出や帰宅したことをスマートフォンへ自動通知するなどの使い勝手の良さが好評で、着実に普及が進んでいます。「セコム・ホームセキュリティNEO」には、基本サービスの防犯・火災監視・非常通報、オプションサービスの救急通報・ガス漏れ監視・安否見守りに加え、IoT機器と接続して利用できるさまざまなコネクテッドサービスがあります。



©2020 Sony Corporation

「セコム・ホームセキュリティ」ご利用者を見送る「aibo」  
aiboはソニー(株)の商品です。

### ● 「セコム・ホームセキュリティ」と「aibo」の連携サービスを提供開始

2020年1月、セコムは、「セコム・ホームセキュリティ」と自律型エンタテインメントロボット

「aibo」を連携させた新サービスの提供を開始しました。このサービスは、「aibo」が外出時の見送りや出迎えをするほか、外出先から「aibo」を通して自宅の様子を確認することができ、ご利用者に癒しをもたらすとともに、「セコム・ホームセキュリティ」の使用感を一層高めています。セコムは、今後もセキュリティのノウハウと、パートナー企業のAIロボティクス技術やエンタテインメント性を融合させて、これまでにないサービスの創造に取り組んでいきます。

### ● 外出先での不安にも応える「セコムみまもりホン」が好評

「セコムみまもりホン」は、救急通報や健康相談、安否確認が可能な救急時対応サービスです。屋内・屋外を問わず、救急時は「セコムみまもりホン」のストラップを引くだけで、セコムへ救急信号が送信され、必要に応じて緊急対応員が駆けつけます。また、利用者が「セコムみまもりホン」の画面の表示に従って安否確認ボタンを押すと、登録された連絡先に「安否確認メール」が送信されます。安否が確認できないときは、ご家族などからの要請で緊急対応員が駆けつけます。ホームセキュリティのご契約がなくても利用できる「セコムみまもりホン」は、高齢者とそのご家族の不安を解消するサービスとして、好評を得ています。

### ● 新たな見守りサービス「まごチャンネル with SECOM」を提供開始

2020年1月、セコムは、IoTベンチャー企業と協働で「たのしい、みまもり。」をコンセプトにした「まごチャンネル with SECOM」の提供を開始しました。「まごチャンネル」を通じて、実家の親御さんは離れて暮らすご家族の動画や写真などを、テレビで楽しむことができます。また、ご家族は「まごチャンネル」に設置している環境センサーからの情報をも



「まごチャンネル with SECOM」

とに、親御さんの起床や就寝、熱中症注意報などの通知、室内の温湿度の変化などをアプリで確認することができます。

今後も、セコムは少子高齢化が進展する中で生じてくるさまざまな見守りニーズに対応したサービスを拡充していきます。

### ■新たな取り組み

#### ● [SECOM DESIGN FACTORY] ブランドを策定

2019年12月、革新的・独創的なサービス創造に向けたセコムとパートナーとの戦略的な協働プロジェクトを示すブランド「SECOM DESIGN FACTORY」を策定しました。セコム内だけにとどまらない多様な価値観を生かして新しい顧客価値・社会価値を創り出す活動、およびそこから生まれた商品を示すブランドです。

これまで、「まごチャンネル with SECOM」、[aibo]と「セコム・ホームセキュリティ」との連携、警備員向け「VR研修プログラム」などを発表し、今後に向けてもさまざまな商品開発プロジェクトが進行しています。

### ■その他のセキュリティサービス

屋外用位置情報提供システム「ココセコム」は、GPS衛星と携帯電話基地局を使った高度な位置検索システムで、その専用端末の所持者や装着物の位置を、高い精度で特定できるサービスです。専用端末の位置は、専用のホームページで検索可能で、ココセコムオペレーションセンターに位置検索を依頼することもできます。オペレーターは、お客様の要請により緊急対応員を急行させ、必要に応じて警察や消防に通報します。お客様が身の危険を感じて携帯端末の通報ボタンを押した場合には、ココセコムオペレーションセンターに救急通報され、要請があれば緊急対応員が駆けつけます。「ココセコム」は、子どもの連れ去り防止や高齢者の徘徊対策、自動車やオートバイなどの盗難対策、タクシーやバスの運行管理、ATMの盗難対策、従業員の安全管理、護身用など、幅広く利用されています。

### ■海外でのセキュリティサービス

#### ● 世界13の国と地域で

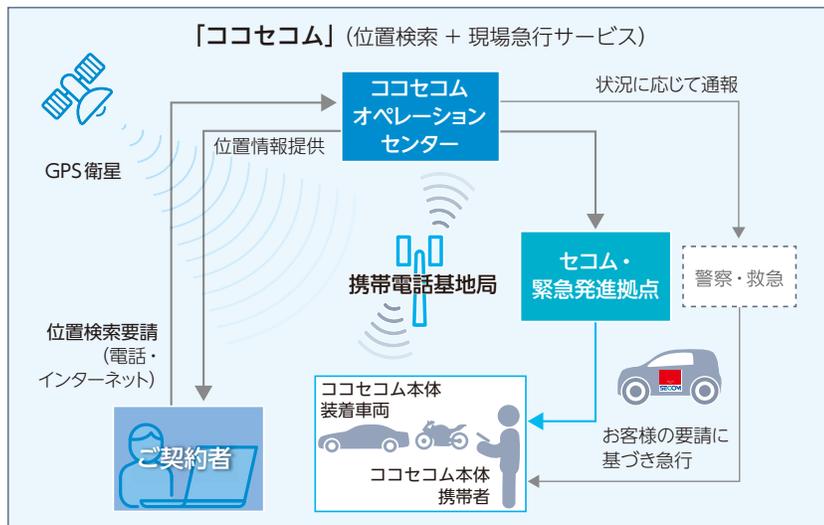
##### セキュリティサービスを提供

セコムは、1978年に台湾へ進出し、現在13の国と地域でセキュリティサービスを提供しています。セコムのセキュリティサービス事業の海外展開の特長は、「セコム方式」の緊急対応サービス付オンライン・セキュリティシステムを、進出先の国と地域に合わせてカスタマイズしているところです。セコムの高品質なサービスは、海外のお客様にも評価され、普及が進んでいます。

台湾では、中興保全科技股份有限公司が台湾のセキュリティサービス事業における最大手企業として証券取引所に株式を上場し、ホームセキュリティから大型施設の安全管理システムまで、幅広いセキュリティサービスを提供しています。また、国際的トップ女子プ



「SECOM DESIGN FACTORY」のブランドロゴマーク





タイセコムセキュリティの管制員



上海セコムセキュリティの緊急対応車

ロゴルフトーナメントでは、セコムのウェアラブルカメラシステムを活用したセキュリティを提供するなど、新技術を取り入れ、サービス品質の向上に積極的に取り組んでいます。

韓国では、(株) エスワンがオンライン・セキュリティシステムを中心に多種多様なセキュリティサービスとビルディングソリューションを提供しています。同社も証券取引所に株式を上場しており、約650カ所の緊急発進拠点による迅速な初動対応がお客様から評価され、業容拡大を続けています。

中国では、現在、沿岸部から内陸部の25都市に拠点を設け、中国最大のセキュリティネットワークを築いています。また、上海には機器の製造拠点を設け、中国各地のお客様のニーズに対応した機器を供給しています。

経済発展が続く東南アジアでも、「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムを提供し、普及が進んでいます。タイでは、セキュリティサービスの最大手企業として、ソリューションまで含めた総合セキュリティシステムを提供しています。マレーシアでは、オンライン・セキュリティシステムから常駐警備、セキュリティマネジメントまで、総合的にサービスを展開しています。シンガポールとインドネシアでは、オンライン・セキュリティシステムやテロ対策セキュリティなどで、高い評価を得ています。経済成長が著しいベトナムとミャンマーでは、多くの日系企業にセキュリティサービスを提供しています。

2019年に進出したトルコでは、ホームセキュリティから大型施設の安全管理システムまで幅広いセキュリティサービスの提供を開始しています。

オーストラリアでは、銀行や大型商業施設などの民間企業から州政府、連邦政府機関へもサービスを提供しており、ニュージーランドでも、高品質なセキュリティサービスや保守

点検サービスが、お客様から高く評価されています。

イギリスでは、セコムPLCが英国全土にオンライン・セキュリティシステムなどを提供し、サービス品質の高さから政府機関や英国大手銀行をはじめ大手企業から長期にわたり信頼をいただいています。

#### ● 現地のニーズに合ったサービスを創出

セコムは、マーケット調査などで現地のニーズを的確に把握するとともに、世界各国のメーカーやIT企業とのオープンイノベーションも積極的に推進し、海外パートナー企業と連携して、現地のニーズに合った革新的なサービス創出に取り組んでいます。

中国では、2019年6月、上海に研究開発拠点である「中国イノベーションセンター」を開設し、最新テクノロジーの活用に積極的な中国の市場環境を生かして、現地のニーズに合致したサービスや商品をスピーディーに展開する体制を構築しています。また、現地の大手家電メーカーや通信会社などと連携し、社会課題を解決する一助となるサービスの創出に取り組んでいます。

中間所得層の増加が続くタイでは、2019年7月からホームセキュリティの販売を開始するなど、家庭向けセキュリティサービス市場への本格参入を推進しています。また、タイにおいても、海外パートナー企業との連携で、市場ニーズに合わせて最適化した新サービスの開発・提供をめざすプロジェクトを立ち上げるとともに、東南アジア市場での業容拡大を図るべく、首都・バンコク市に「ASEANイノベーションセンター」の開設を予定しています。セコムは、海外でも「あんしんプラットフォーム」構想を展開し、「ANSHIN」が世界の共通語になることをめざして活動していきます。

## 防災事業



### 主な取り組み

社会の発展に伴い都市や建物の防災ニーズが多様化・高度化する一方、従来の建物やインフラでは老朽化といった新たな課題も生まれています。国内防災業界大手2社である能美防災とニッタンは、住宅向けから商業施設、文化財など幅広い分野に、自動火災報知設備や消火設備の提供から保守点検までの総合的な防災システムを提供しています。両社の強みは、豊富な施工実績とノウハウに加えて、研究開発から企画、設計、機器の製造、施工、メンテナンスまでを一貫して行う体制で、お客様のニーズに応える高品質な防災システムを提供しているところにあります。

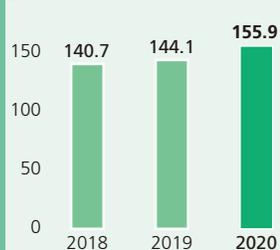
自動火災報知設備の分野では、新築市場で営業活動を積極的に展開し、リニューアル市場では、設備の更新時期を迎えるお客様に対して、豊富な施工実績とお客様との信頼関係を生かして、最適なリニューアルの提案

営業を行いました。また、消火設備の分野では、受注が好調に推移しました。

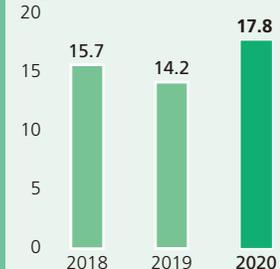
### ●クラウド型防災支援ソフト 「TASKis(タスキス)」を発売

能美防災は、BCPに係わる緊急時対応マニュアルの周知徹底と災害発生時の初動体制を支援するクラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売しました。このソフトは、火災や地震などの非常時に、関係者のスマートフォンへマニュアルに沿った行動指示を通知します。関係者は、スマートフォンの画面に表示された指示内容を見ながら、迅速かつ的確な行動をとることができ、管理者へのタスク実施報告も行えます。新たな付加価値を提供する「TASKis」は、保守点検のお客様への提案にも最適なソフトです。今後、お客様のご要望を反映してバージョンアップを図りながら、継続収入ビジネスとして提供を拡大していきます。

純売上高および営業収入  
(10億円)



営業利益  
(10億円)



「TASKis」による行動指示・通知のイメージ図(能美防災)



放水銃システム実験  
(能美防災)

### ●文化財防災事業を強化

フランスのノートルダム大聖堂や、沖縄県の首里城跡で発生した大規模火災を踏まえ、文化庁は「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」を公表しました。当ガイドラインにより、世界遺産や国宝に指定されている建造物、博物館などで、防火対策のニーズが高まることを見込まれます。豊富な文化財防災システムの実績を持つ能美防災は、増加する市場ニーズに対応すべく、社内の提案・施工体制を強化し、貴重な文化財に最適な自動火災報知設備や消火設備などを提供していきます。

### ●屋内位置情報システム

#### 「B Catch Now(ビーキャッチナウ)」を発売

ニッタンは、位置情報を活用して非常時の避難を支援する屋内位置情報システム「B Catch Now」を発売しました。このシステムは、各施設に配置された自動火災報知設備と連携して、火災の発生箇所と人の位置を防災センターなどへ視覚情報として配信できるため、迅速な初期消火や早期の避難誘導、消防による消火・救援活動の支援などに有効です。

平時でも、建物内の人の位置を把握できることから、会議や作業の時間・頻度を分析して動線を可視化・データ化することで、職場の効率化やオフィス環境の改善にも活用できます。位置情報を測位するビーコンは、電池切れや故障に対する維持管理が必要ですが、「B Catch Now」は火災報知設備の点検サイクルに合わせてニッタンが維持管理を行うため、お客様は手を煩わすことなく常に万全の状態で使用できます。今後は、備品の位置の把握・管理など、さまざまな機能を追加し、より「安全・安心」で快適なオフィス空間を提供していきます。

### ●海外事業を積極的に展開

ニッタンの火災報知システムは、海外でも使いやすさと信頼性、品質、さらに設置工事に対する評価が高く、導入が進展しています。イギリスでは、連結子会社のニッタンヨーロッパLtd.が2017年にトレーニングセンターを新設し、優良な販売代理店と設置業者への支援プログラムを開始し、販売力の強化や工事品質の向上を図っています。

その成果として、たとえば18世紀に建設された複雑な建物構造を持つ大学の寄宿舎に、EN規格の「EVOLUTIONシリーズ」が採用されました。また、新型コロナウイルス感染症対策として行政が緊急で建設した病院に、煙感知器が採用されました。

欧州以外でも技術支援を行っており、たとえばバングラデシュのダッカにある病院にUL規格の火災報知システム「SPERA」を納入するなど、ULやEN規格に準拠した製品の普及に邁進しています。

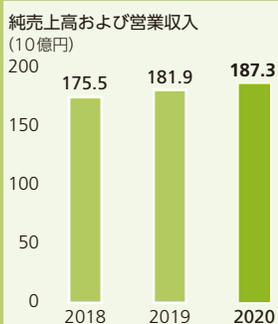


「B Catch Now」の感知器接触型ビーコンと位置情報画面（ニッタン）



ニッタンの火災報知システムを導入したイギリスにある大学の寄宿舎

## メディカルサービス 事業



### 主な取り組み

セコムは、人の健康や命を守るサービスも提供することで真の「安全・安心」をもたらすと考え、医療、介護、健康・予防、ICTの4つの分野を中心にメディカルサービス事業を展開しています。セコムでは、病気や介護、健康に不安を抱えている人々に寄り添ったサービスを提供し続けたいという想いで活動しています。さらに、提携病院をはじめ、訪問看護、薬剤提供、介護、健康・予防などの各サービスをICTでつなぎ合わせて、切れ目のない地域医療連携モデルの構築をめざしています。

#### ● 医療サービス

セコムのメディカルサービスは、安心な在宅療養を支援する「訪問看護サービス」と「薬剤提供サービス」から始まりました。「訪問看護サービス」は、全国34カ所の「セコム訪問看護ステーション」から看護師が患者様のご自宅を訪問し、主治医の指示に基づいた医療処置・看護ケアで療養生活を支援しています。「薬剤提供サービス」は、院外処方箋の受付、在宅で療養中の患者様に必要な薬剤

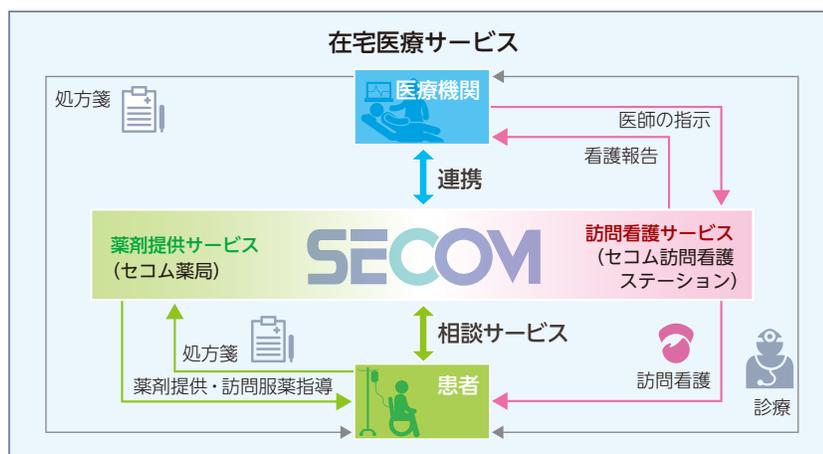
や中心静脈栄養輸液の輸液ライン・注射器などの医材料や衛生材料を提供しています。

提携病院の運営支援では、救急から療養まで対応するさまざまな病院・クリニックと提携し、高品質な地域医療サービスを提供するとともに、地域医療連携モデルの構築をめざしています。さらに、在宅医療サービスのノウハウや経験を生かして、地域に根ざしたクリニックの開業・運営支援を行っています。

また、日本で培ったメディカルサービス事業のノウハウを生かして、インドのベンガルールにて総合病院「サクラ・ワールド・ホスピタル」を運営しています。



薬剤提供サービス





訪問介護サービス

●介護サービス

介護サービスでは、セコムのセキュリティや医療・介護のノウハウを結集した「シニアレジデンス」を運営しています。そのほか、「訪問介護サービス」やデイサービス、さらには在宅総合ケアセンターなどを展開しています。

●健康・予防サービス

健康・予防サービスは、健康の維持・増進、生活の質の向上を目的に、サービスを拡充し、会員制健康管理クラブ「セコム健康くらぶKENKO」などを運営しています。

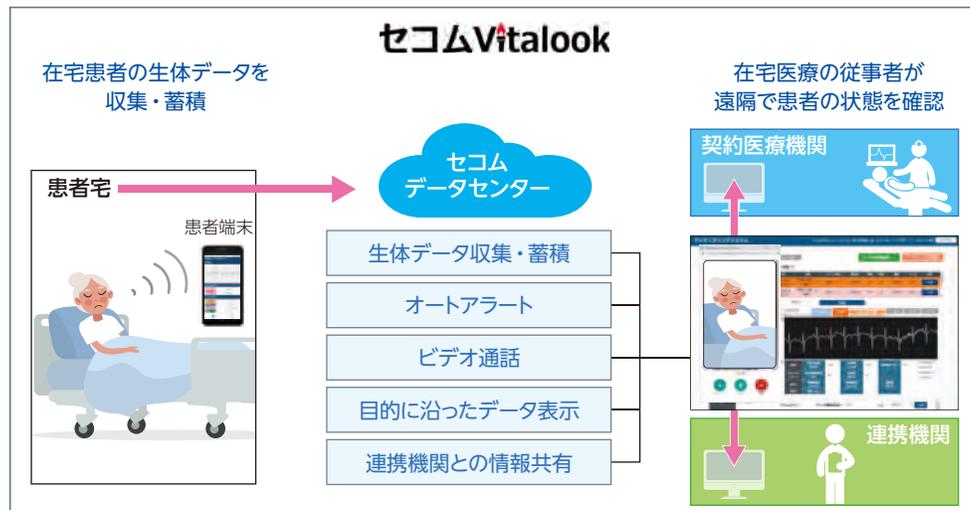


遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」

●ICTサービス

ICTサービスは、セコムならではのネットワーク医療を展開しています。たとえば、在宅医療や病院支援で培ったノウハウに、ICTやセコムならではの経営資源を活用することで実現した、遠隔診療支援プラットフォーム「セコムVitalook (バイタルック)」を提供しています。

また、医療機関連携や在宅診療に最適なクラウド型電子カルテシステムを診療所から中・小規模病院まで幅広く提供しているほか、さまざまな仕様の電子カルテをセコムのデータセンターでお預かりして医療関係者が共有できる「セコムLINKus (リンクス)」、遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」、病院経営情報分析システム「セコムSMASH (スマッシュ)」など、セコムのICTやデータセンター、メディカルサービスのノウハウを生かしたソリューションを提供し、医療機関のさまざまな診療情報ニーズに応えています。



## 保険事業



### 主な取り組み

セコムは、犯罪や火災を未然に防ぐ「事前の備え」のセキュリティサービスと、被害にあった時の損失を補償する「事後の備え」の損害保険で、切れ目のない「安全・安心」を実現できると考え、お客様の日常生活や事業活動を支援するセコムならではの損害保険を提供しています。

#### ● ご加入者の増加が続く 「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、自由診療・先進医療・公的保険診療を問わず、がんの入院治療費を全額補償する保険です。がん治療に要した入院治療費は無制限、通院治療費は5年ごとに最大1,000万円まで補償されるので、ご加入者は経済的な負担を気にすることなく、がんの治療に専念できます。ご加入者の立場で、最良のがん治療をめざし開発されたこの保険は、お客様の高い支持を集め、契約の増加が続いています。

#### ● セコムならではの 割引が好評の火災保険

家庭向け火災保険「セコム安心マイホーム保険」は、盗難や火災のリスクが軽減されるホームセキュリティのお客様に、お得な保険料でご利用いただけるのが特長です。企業向けにも、オンライン・セキュリティシステムの導入によるリスク軽減効果を保険料に反映させた「火災保険セキュリティ割引」を販売しています。セコムのホームセキュリティや企業向けオンライン・セキュリティシステムの導入時に、これらの火災保険を積極的に提案することで、お客様が増加しています。今後も、セキュリティシステムの普及と合わせて、さらなる拡販に注力していきます。

#### ● 現場急行サービスが特長の 「セコム安心マイカー保険」

自動車保険「セコム安心マイカー保険」の特長は、24時間365日、お客様の要請に応じて、セコムの緊急対応員が交通事故の現場に駆けつける現場急行サービスにあります。緊急対応員による事故現場での警察や救急への連絡や事故現場の写真撮影など、お客様に寄り添った支援が好評を得ています。

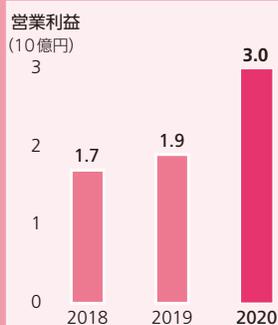
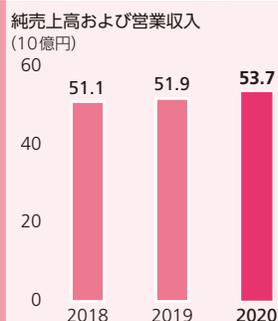


「自由診療保険メディコム」「セコム安心マイホーム保険」  
「セコム安心マイカー保険」のパンフレットを刷新



ホームセキュリティのご契約時にセキュリティアドバイザーが火災保険をご提案

## 地理空間情報 サービス事業



## 主な取り組み

パスコは、人工衛星、航空機、ドローン、専用車両、船舶などに搭載した各種センサーで収集した地理情報を加工・処理・解析して、社会課題の解決に向けた地理空間情報サービスを提供しています。パスコの事業は、行政機関が対象の国内公共部門、民間企業が対象の国内民間部門、諸外国の政府機関や民間企業が対象の海外部門で構成され、本セグメントの純売上高および営業収入の約8割は、国内公共部門が占めています。

### ● 国土強靱化対策に貢献

気候変動に伴い、河川の氾濫や土砂崩れなどの災害対策のニーズが増加しています。パスコでは、ダム・河川・砂防を対象に、航空レーザー計測技術で高精度な3次元地形データを収集し、危険性の判定やリスクの影響範囲を評価しています。また、ドローン搭載型のグリーンレーザースキャナは、地上部と水底(河床や海底)の高精度な3次元地形データを同時計測する技術として、河川管理やi-Construction\*分野での効率化・高精度化の推進に貢献しています。今後もパスコは、高度な地理空間情報技術を活用し、国土の現状把握からリスク評価・対策・維持管理までを包括的に支援していきます。

\*i-Construction・・・建設現場にICTを導入し、工事の平準化・規格の標準化を通じて、安全性・生産性向上を図る、国土交通省の取り組み。

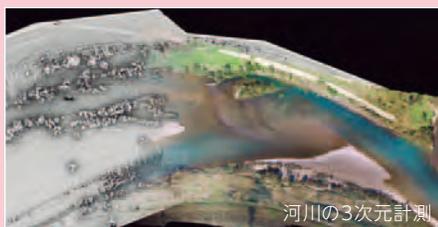
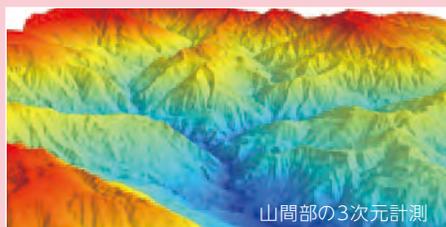
### ● インフラ老朽化対策を支援

日本の社会インフラは、高度成長期に建設されたものが多く、老朽化が社会課題となっています。パスコでは、道路や橋梁、学校などの公共施設の長寿命化計画を策定する業務が好調に推移しました。さらに、各種インフラの電子台帳整備から劣化状況の点検調査、長期修繕計画の策定、維持管理業務支援システムまでを統合的に支援しています。公共インフラを統合的かつ計画的に管理する仕組みを、引き続き全国の自治体に積極的に提案していきます。

### ● 物流向けトータルサービスを提供

パスコは、物流業界の課題解決のために、企業と連携し、サービスの充実と販売チャネルの拡充を図っています。物流拠点の市場・立地分析、倉庫内の最適配置は、パスコの技術を用いたサービスで担い、倉庫管理はICTソリューション提供会社、荷卸し管理を物流向けソリューション開発会社と提携しています。倉庫からの配送では、パスコが最適な配送計画や災害時の危機管理を担い、提携先モバイルナビゲーション会社が、ルートナビゲーションを提供しています。

今後も、次世代サービスの創出に向けて、物流向けトータルサービスを皮切りにさまざまな分野で企業や大学などの連携を強化していきます。

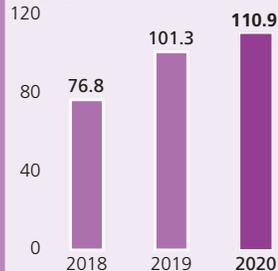


高精度な3次元地形データを収集し、さまざまなリスクを評価

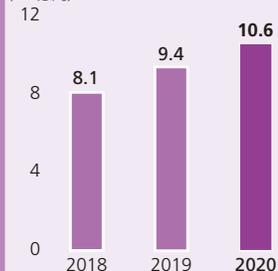
## BPO・ICT事業



純売上高および営業収入  
(10億円)



営業利益  
(10億円)



### 主な取り組み

BPO・ICT事業には、お客様のさまざまな課題を解決する「安全・安心・快適・便利」なICTサービスの構築と運用を担うセコムトラストシステムズ、主要なクラウドサービスなどへの接続性に優れた国内最大級のデータセンターを運営するアット東京、コンタクトセンターやバックオフィス業務を中心に幅広いBPOサービスを提供するTMJが、多様なニーズに応えています。

#### ●大規模災害対策・情報セキュリティ・クラウドサービス

セコムトラストシステムズは、災害を想定した事前準備、初動対応、復旧までのBCP(事業継続計画)を支援する、広範囲大規模災害対策サービスを提供しています。

そのひとつ、「セコム安否確認サービス」は、地震・災害・インフラ障害などの発生時に、ご契約先企業の社員やご家族の安否や、事業所の被災状況を迅速に把握できます。2020年3月末時点で、約7,900社、約710万人に利用され、大企業や官公庁などのご契約も増加しています。発売以来、お客様の声に応じて利便性の向上を図っており、大手SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の業務用コミュニケーションツールを用いた安否確認・報告も可能になりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社員の健康状況をいち早く確認できるように、質問テンプレートを用意し、一部機能を無償提供して企業の感染防止策を支援しています。

テレワークの急速な普及など、新型コロナウイルス感染症は人々の働き方にも変化をもたらす中、セコムトラストシステムズは、安全で快適な業務運営を支援するクラウドサービスの提案にも注力しています。たとえば、テレワークの場所を問わず、オンライン上で出勤の打刻や勤怠管理が可能な「セコムあんしん勤怠管理サービス KING OF TIME Edition」、セコムの厳格なセキュリティで給与明細を安全に管理・閲覧できる「給与明細電子化サービス」など、人事関連サービスを提供しています。また、セコムの堅牢なセキュアデータセンターと電子認証局を持つ優位性を生かして、Web会議やテレビ会議で開催する取締役会などの議事録を承認する「セコム議事録電子化サービス」、文書の安全な電子化により電子契約もできる「セコムあんしんエコ文書サービス」、自宅のテレワーク環境で「安全・安心」に電子ファイルを送受信できる「セコムあんしんファイル送信サービス」を提供し、企業の課題解決に寄与しています。セコムは今後も、企業の新たな働き方を支援するサービスを拡充していきます。



新型コロナウイルス感染症対策にも対応する「セコム安否確認サービス」



アット東京のデータセンター



感情解析コールセンター AI を使用するオペレーター(TMJ)

### ● データセンター

アット東京は、データセンター事業会社としての長年の経験や運用ノウハウを生かして、高品質で信頼性のある世界最高水準のサービスを24時間365日途切れることなく提供しています。特に、メガクラウドやIX(インターネットエクスチェンジ)など幅広いサービスプロバイダーとの高品質で低遅延、かつ信頼性の高い優れた接続性を強みとしており、システム停止が社会に大きな影響を及ぼす企業の重要なITインフラとして活用されています。近年、企業には大規模災害による事業リスクへの対応が求められており、首都圏と同時に罹災する可能性が低い関西エリアでのデータセンターサービス需要が一層高くなってきています。そのような動向を見据えてアット東京は、2020年1月、災害時の事業継続を目的とする金融機関向けの新たなデータセンターを関西地区に開設し、続いて4月に同地区でネットワーク拠点となるデータセンターを開設しました。

今後も、需要の拡大に伴ってデータセンターの質的・量的拡充を図り、高度情報化社会に欠くことのできない多様なサービスの実現に必要なプラットフォームとして、積極的に事業を展開していきます。

### ● BPOサービス

日本では、労働力人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「安全・安心」で質の高いBPOサービスの需要がますます高まっています。TMJは、金融業をはじめとするさまざまな業種の企業にコンタクトセンターやバックオフィス業務を提供し、そのサービス品質は高く評価されています。

2020年3月、TMJは、コンタクトセンター運営の知見を生かして、音声感情解析AIの開発会社と共同でコールセンター業務を支援する、感情解析コールセンター AIを開発しました。このAIは、通話対応時のオペレーターとお客様の感情を解析・評価して、それをオペレーターの画面に表示します。管理者はリアルタイムにその様子を確認しながらオペレーターにアドバイスができるため、新人オペレーターと管理者のスキル向上に役立つほか、オペレーターが働きやすい環境づくりなどにも役立つと期待されています。

TMJは、新型コロナウイルス感染症の拡大で企業のテレワーク導入が推進されている中、「あんしん電話当番サービス」の拡販にも努めています。オフィスにかかってくる電話の受付を24時間365日、お客様のご希望の時間帯で代行するこのサービスを通じて、社員の方々がオフィス外でも安心して働ける環境づくりを支援するとともに、高品質なコンタクトセンターサービスのご利用先を拡大していきます。

## 不動産・その他の事業



純売上高および営業収入  
(10億円)



営業利益  
(10億円)



### 主な取り組み

#### ●不動産開発・販売事業

セコムは、「安全・安心」と「信頼」をコンセプトに、セコムならではの最新のセキュリティシステムの導入、充実の防災対策、責任あるアフターサービスを特長としたファミリー向けの分譲マンション「グローリオ レジデンス」シリーズを開発・分譲しています。また、都市部での機能性や快適性を追求したセキュリティ・コンパクトマンション「グローリオ コンフォート」シリーズや賃貸マンションの「グローリオ シェルト」シリーズ、中古マンションの需要拡大に対応したリノベーションマンションも販売しています。

首都圏を中心に「住まいの情報館」を開設して、住まいに関するお困りごとの相談への対応やセミナー開催などを行っています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、リモート対応が新常态として急速に広がる中、自宅などからオンラインで利用できる「住まいの情報館 オンライン館」を新設しました。今後も「住まいの情報館」を活用した営業活動を展開していきます。



「グローリオ レジデンス浦和元町」

#### ●不動産賃貸事業

東京都心部でビル賃貸事業を展開しています。ビルの保守管理や配慮が行き届いた運営管理が好評で、幅広い業種・形態のお客様にご利用いただいています。

#### ●建設設備工事

建物の空気調和・給排水衛生・電気など、設備の設計・施工からメンテナンスまでの一貫体制で、お客様に質の高い設備工事を提供しています。

#### ●ホームサービス事業

「セコム・ホームサービス」は、「セコム・ホームセキュリティ」をご契約しているお客様向けの生活支援サービスです。掃除や家事のお手伝い、不在時のお住まいの見回りなど、暮らしの中のお困りごとを解決するサービスを提供して、お客様のさまざまなニーズにきめ細かく応えています。



「セコム・ホームサービス」



「住まいの情報館」のコンセプトルーム